

産業建設常任委員会

日時 平成29年9月20日(水)

午前10時から

場所 委員会室

議 題

1 付託案件(1件)

- (1) 議案第46号 射水市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

2 報告事項(5件)

- (1) ふるさと納税 返礼品の見直しについて

・・・・・・・・産業経済部 農林水産課 資料1

- (2) 地域バイオマス利活用施設整備事業について

・・・・・・・・産業経済部 農林水産課 資料2

- (3) 農村地域防災減災事業(ため池安全施設整備事業)

・・・・・・・・産業経済部 農林水産課 資料3

- (4) 平成28年度射水市水道事業の決算見込みについて

・・・・・・・・上下水道部 上下水道業務課 資料1

- (5) 平成28年度射水市下水道事業の決算見込みについて

・・・・・・・・上下水道部 上下水道業務課 資料2

3 その他

ふるさと納税 返礼品の見直しについて

総務省からの返礼品の調達価格を3割以下とする通達を受け、昨年8月に発行したパンフレットの有効期限（7月末）に合わせ、寄附区分等を見直すとともに、新たなパンフレットを作成した。

また、3つのポータルサイト（ふるさとチョイス、さとふる、楽天）内の返礼品も同内容で見直しを行った。

1 見直し内容

（1）寄附区分の細分化

寄附区分をこれまでの5区分から12区分に細分化することで、射水市の特産品を選びやすくなるよう配慮した。

（2）返礼品の見直し

一部の返礼品については、従来の寄附区分にするため、商品内容、数量等を見直した。

（3）返礼品の充実

市内企業の協力により、新たに13品を追加し61品と返礼品を充実させた。

（例：醤油セット、ボイルほたるいか、ほたるいかの沖漬け、のどぐるー一夜干、越の紅ガニのおつまみ等）

表1 寄附区分比較表

寄附区分	H28	H29
1万円以上	31	27
1万5千円以上		12
2万円以上	9	4
2万5千円以上		5
3万円以上	3	5
4万円以上		1
5万円以上	4	2
7万円以上		1
8万円以上		1
9万円以上		1
10万円以上	1	1
15万円以上		1
合計	48	61

2 見直し期日 8月1日（火）

3 申込み方法

申込希望者には、カタログの郵送もしくは農林水産課（大島分庁舎）財政課（本庁舎）にて配布するほか、各種ポータルサイト（ふるさとチョイス、さとふる、楽天）で受け付ける。



ふるさと納税 お礼の品カタログ



自然豊かな環境が育む四季折々の特産品をお楽しみください。



富山県射水市は、県域のほぼ中央に位置し、海や河川、そして丘陵に囲まれた自然豊かな都市です。この恵まれた環境の中、四季折々の味覚にあふれ、中でも富山湾の代表的な味覚「ベニズワイガニ」や「シロエビ」等の新鮮な魚介類は全国的にも有名です。

平成27年3月には北陸新幹線が開業し、富山・東京間を最速2時間8分で結び、射水市へのアクセスも大変良くなりました。市内には見どころも多く、ベイエリアには日本海側最大級の斜張橋「新湊大橋」や県内有数の観光地「海王丸パーク」、周辺を流れる「内川」は、東洋のベニスと評価され、映画のロケ地として脚光を浴びており、多くの観光客にざわいを見せております。市内に20基ある絢爛豪華な「曳山」や漆喰の芸術「鍔絵」に代表される伝統文化、越中だいもん風まつり等のイベントなど、多くの魅力が詰まった射水市を、ぜひ体感してください。

皆様のお越しを、心からお待ち申し上げております。

富山県射水市長 夏野 元志

魅力の品を取り揃えたホームページもご覧ください。

<http://www.city.imizu.toyama.jp/>

射水 ふるさと

検索

地域バイオマス利活用施設整備事業について

【整備概要】 もみ殻燃焼施設

1 施設概要

補助対象施設は、もみ殻を燃焼した際に発生する熱を農業用ハウスへの温熱供給に活用する。また、副産物として排出される灰を珪酸質資材等として活用する。

施設の中心となるもみ殻燃焼施設は、もみ殻の燃焼状況を制御することで燃焼を阻害するクリンカー（焼塊）の発生を抑制しつつ、安定した熱量の供給を可能にするとともに、燃焼後の副産物である灰に可溶性珪酸が多く含まれるよう特別に設計した。

産業廃棄物であったもみ殻を資源として有効活用できることにより、農業生産者への負担軽減を図る施設となる。

2 整備内容

もみ殻燃焼棟 もみ殻燃焼炉及び熱交換器 もみ殻搬送・供給装置
もみ殻燃焼灰保管・梱包設備 オペレーター室 農業ハウス用暖房設備

3 成果物量

温熱供給量 316,777,500kcal/年

- ・もみ殻燃焼能力 190kg/h
- ・温熱供給期間 11月～3月（5ヶ月）
- ・温熱供給期間の外110日は珪酸質資材の製造のみ

4 副産物量（もみ殻灰）

珪酸質資材量 64.2 t/年

日生産量 247 kg（190 kg/h × 6.5 h/日 × 0.2）

5 事業費 215,568千円（税込）

補助対象経費 199,600千円

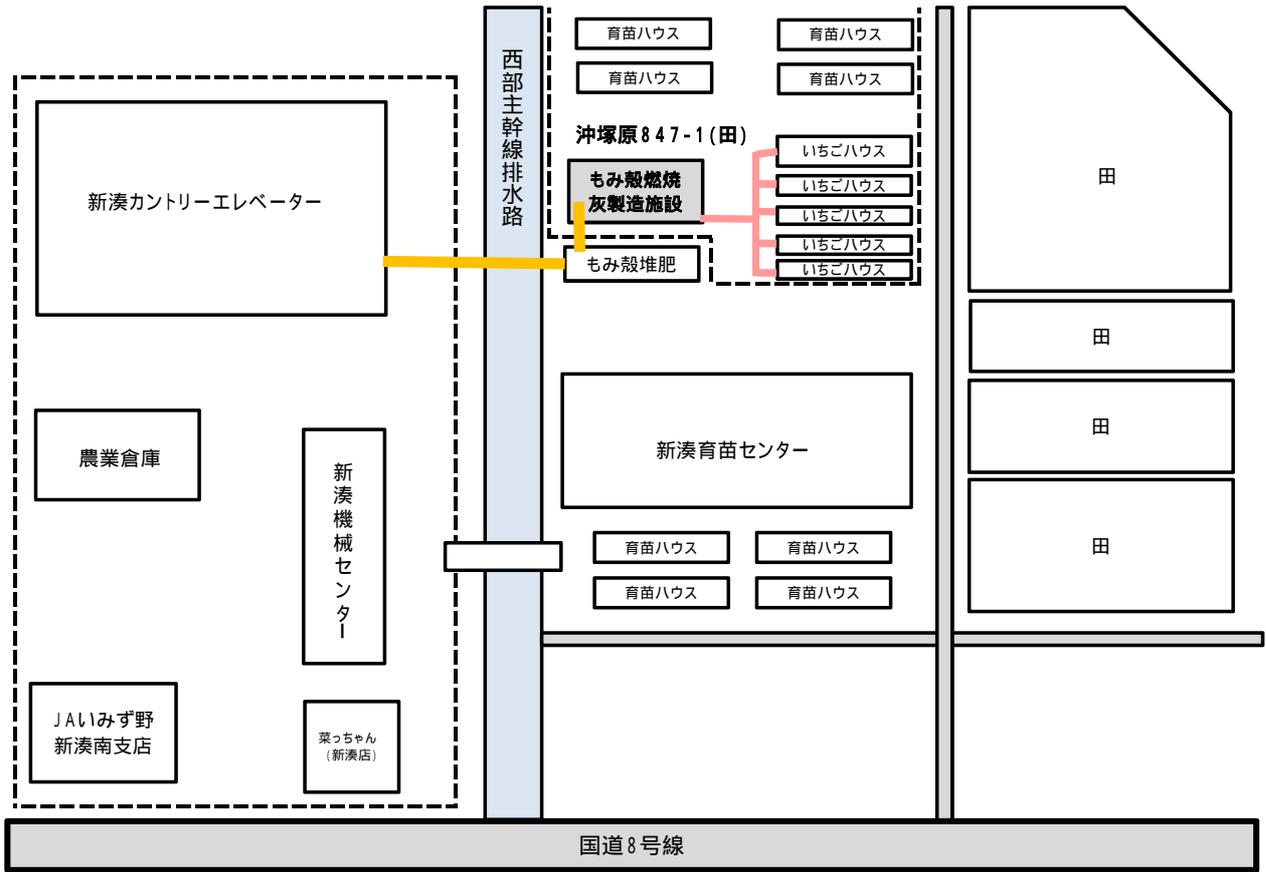
国庫補助金 99,800千円（補助対象経費1/2以内）

市補助金 33,000千円（実施主体負担1/3以内）

【実施主体】 いみず野農業協同組合

【施設予定地】 射水市沖塚原847番地1
新湊カントリーエレベーター敷地内

【予定地略図】



【工事工程表】

項目	平成29年				平成30年		
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【建築関係】							
実施設計	—						
基礎工事				—			
建築工事					—		
電気設備工事						—	
配管工事						—	
【機械装置関係】							
基本設計		—					
機械製造			—				
機械設置工事						—	

農村地域防災減災事業【ため池安全施設整備事業】

【事業概要】 農村地域防災減災事業を活用し、県営事業により、民家に近接するため池の安全施設の整備を実施する。

- 1 事業主体 富山県
- 2 地区名 たかおか広域地区
- 3 事業期間 平成28年度 ～ 平成30年度
(射水市内対象ため池は、平成29年度までに完了予定)
- 4 負担率 国 50% - 県 35% - 市 15% - 農家 0%

5 事業費 (単位：千円)

	H28年度	H29年度	今回追加	計	備 考
県事業費	5,000	7,000	19,710	31,710	安全柵657m分
市負担額	750	1,050	2,957	4,757	

- 6 実施内容 救命ロープ、啓発看板、安全柵の設置
- 7 実施要件 ため池から民家等までの直線距離が500m以内かつ、ため池へアクセスしやすい道路があること。
- 8 対象ため池 44箇所 (市内58箇所のうち)

	整 備 計 画			備 考
	救命ロープ	啓発看板	安全柵 (恒久柵)	
整備数量	75セット	45枚	965m	
内今回追加	—	—	657m	
ため池箇所数	44箇所	44箇所	22箇所	
内今回追加	—	—	15箇所	

※ ため池の規模により、救命ロープ、啓発看板は複数の整備を行う箇所があります。

農村地域防災減災事業 【ため池安全施設整備事業】



平成28年度射水市水道事業の決算見込みについて

1 概況

平成27年度から2か年継続事業として実施してきた水道施設総合コントロールシステム更新事業が完了し、より効率的な配水運用に取り組んでいく体制が整いました。また、西部幹線の延伸工事、主要幹線の耐震化工事及び老朽配水管の更新工事などを計画的に実施し、安全・安心な水の安定供給を推進しました。

今後とも『豊かな市民生活を支える安全安心の水道』の実現に向け、市民ニーズに適切に対応した事業運営に努め、災害に強いライフラインとしての水道の構築と将来にわたり持続可能な健全経営を目指し、経常経費の削減と経営の効率化に取り組んでまいります。

2 業務量

項目	平成28年度	平成27年度	対前年度比較
給水人口	92,776 人	93,172 人	396 人
給水栓数	34,920 栓	34,653 栓	267 栓
配水量	10,785,843 m ³	10,794,516 m ³	8,673 m ³
有収水量	10,203,862 m ³	10,230,922 m ³	27,060 m ³
有収率	94.6 %	94.8 %	0.2 ポイント
1日最大配水量	34,747 m ³ (1月24日)	35,623 m ³ (1月25日)	876 m ³

3 財務諸表

(1) 損益計算書

(単位：千円)

科目	平成28年度	平成27年度	対前年度比較	科目	平成28年度	平成27年度	対前年度比較
水道事業収益	2,097,979	2,061,441	36,538	水道事業費用	1,852,864	1,821,585	31,279
営業収益	1,928,021	1,932,125	4,104	営業費用	1,701,007	1,662,004	39,003
営業外収益	113,513	112,066	1,447	営業外費用	151,857	159,581	7,724
特別利益	56,445	17,250	39,195	特別損失	0	0	0

当年度純利益245,115千円(対前年度比較5,259千円の増益)

(2) 貸借対照表

(単位：千円)

科目	平成28年度	平成27年度	対前年度比較	科目	平成28年度	平成27年度	対前年度比較
資産	19,410,443	19,306,837	103,606	負債	9,107,103	9,266,326	159,223
固定資産	18,205,873	17,916,465	289,408	固定負債	7,805,724	7,877,238	71,514
流動資産	1,204,570	1,390,372	185,802	流動負債	773,313	863,288	89,975
				繰延収益	528,066	525,800	2,266
				資本金	9,704,909	9,509,194	195,715
				剰余金	598,431	531,317	67,114
				資本剰余金	0	0	0
				利益剰余金	598,431	531,317	67,114
資産合計	19,410,443	19,306,837	103,606	負債・資本合計	19,410,443	19,306,837	103,606

(3) 剰余金処分(案)

平成28年度射水市水道事業会計未処分利益剰余金358,431,202円のうち113,000,000円を資本金に組み入れるとともに、74,000,000円を減債積立金に、171,000,000円を建設改良積立金に積み立て、残金431,202円を繰り越すものとする。(繰越利益剰余金)

4 資金不足比率

%

平成28年度射水市下水道事業の決算見込みについて

1 概況

射水市下水道事業は、下水道ビジョンの「未来に続く確かな水環境の創造」の実現に向け、新たに平成38年度までの事業の投資・財政計画である「経営戦略」を策定するとともに、長寿命化計画に基づく老朽管渠等の改築や不明水対策・接続促進等を計画的に推進し、施設の延命化や有収率・水洗化率の向上等に努めました。

また、近年の局地的な豪雨による浸水被害に対して、市民の安全・安心を確保するため、海老江雨水ポンプ場整備事業・娶川排水区雨水対策事業・大門大島雨水幹線整備事業などの雨水対策事業に積極的に取り組まれました。

2 業務量

項 目	平成28年度	平成27年度	対前年度比較
水洗化人口	85,717 人	85,763 人	46 人
接続件数	31,089 世帯	30,600 世帯	489 世帯
処理水量	11,643,402 m ³	11,542,829 m ³	100,573 m ³
有収水量	8,549,953 m ³	8,456,216 m ³	93,737 m ³
有収率	73.4 %	73.3 %	0.1 ポイント
1日最大処理水量	50,217 m ³	49,555 m ³	662 m ³

3 財務諸表

損益計算書

(単位：千円)

科 目	平成28年度	平成27年度	対前年度比較	科 目	平成28年度	平成27年度	対前年度比較
下水道事業収益	3,943,864	3,922,934	20,930	下水道事業費用	3,586,269	3,624,854	38,585
営業収益	1,633,583	1,612,665	20,918	営業費用	2,926,368	2,919,421	6,947
営業外収益	2,243,335	2,253,169	9,834	営業外費用	659,774	704,651	44,877
特別利益	66,946	57,100	9,846	特別損失	127	782	655

当年度純利益357,595千円(対前年度比較59,515千円の増益)

貸借対照表

(単位：千円)

科 目	平成28年度	平成27年度	対前年度比較	科 目	平成28年度	平成27年度	対前年度比較
資産	63,492,418	64,180,367	687,949	負債	54,701,159	56,091,807	1,390,648
固定資産	62,185,544	62,771,441	585,897	固定負債	28,033,775	29,228,980	1,195,205
流動資産	1,306,874	1,408,926	102,052	流動負債	2,617,870	2,697,119	79,249
				繰延収益	24,049,514	24,165,708	116,194
				資本金	7,742,315	7,150,464	591,851
				剰余金	1,048,944	938,096	110,848
				資本剰余金	205,701	203,448	2,253
				利益剰余金	843,243	734,648	108,595
資産合計	63,492,418	64,180,367	687,949	負債・資本合計	63,492,418	64,180,367	687,949

剰余金処分(案)

平成28年度射水市下水道事業会計未処分利益剰余金613,735,715円のうち255,493,043円を資本金に組み入れるとともに、358,000,000円を減債積立金に積み立て、残金242,672円を繰り越すものとする。(繰越利益剰余金)

4 資金不足比率 - %